



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2026/7/18 Rd-6 FUJI SPEEDWAY

天候：曇り 気温：24℃ 出走台数：24 台

今シーズン富士スピードウェイで初めて開催されるスーパーフォーミュラ第6戦。
今大会は、荒天で中止となった第3戦オートポリス決勝レースが、代替え戦として組込まれるため、土日の2日間に予選2回、決勝3戦が行われるハードスケジュールになる。
スタート前のレコノサンスラップが始まるころに雨粒を感じたが、路面が濡れることはなくドライコンディションでスタートを迎えた。

8番グリッドスタート牧野選手、13番グリッドスタートの太田選手は共に抜群のスタートで2ポジションアップ、その後も周回ごとにポジションを上げ、牧野選手は7周目には3番手、太田選手も11周目には5番手、さらに14周目には牧野選手の背後4番手まで順位を上げる。

そのころ弱い雨が降り始めたこともあり、チームはピットインのタイミングを遅らせ、20周目終了時点で太田をピットに呼ぶ。その後ピットインしたオサリバン選手も抜き、太田選手はピット消化組の首位に。

牧野選手は終盤にフレッシュタイヤを生かして挽回する戦略をとり29周目終了までピットインを遅らせる。ピット消化組の3位でコースへ戻ると、自己ベストタイムを連発しながらオサリバン選手との差を削ってゆく。

太田選手は最後まで首位を保ちトップフィニッシュ。

牧野選手は2位オサリバン選手に2.5秒差まで詰め寄るが届かず3位で第6戦を終えた。

5：牧野任祐 選手 3位

スタートもレースペースもよく、早い段階でポジションを上げることが出来ました。

雨が降り始めたことでピットインのタイミングに混乱があり、ピットインを引っ張らざるを得ない状況になってしまいました。終盤にフレッシュなタイヤで挽回したかったのですが届かなかったです。

明日に向けては気持ちを切り替えて臨みます。

6：太田格之進 選手 1位

13位からのスタートということでかなりアグレッシブに攻めないと勝機はないと思いスタートからオーバーテイクを仕掛けて走りました。ピットタイミングもレースペースもよくて、ここまでポジションアップできたのはとてもうれしいです。

予選のミスをしっかり挽回できたことはチーム総合力の強さと思います。もちろん明日は今日以上のパフォーマンスで第7戦も勝ちたいです。